



令和3年10月6日

各位

上場会社名 株式会社レイ
 代表者 代表取締役社長 分部 至郎
 (コード番号 4317)
 問合わせ先責任者 取締役 梶浦 政彦
 (TEL 03-5410-3861)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年4月14日公表の「令和3年2月期 決算短信[日本基準] (連結)」において、未定としておりました令和4年2月期 第2四半期の業績予想及び中間配当金について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

尚、令和4年2月期通期の業績及び期末配当金予想につきましては、引き続き未定とし、予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

記

●業績予想の修正について

令和4年2月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正 (令和3年3月1日～令和3年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	4,332	△ 46	17	△ 5	△ 0.40
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (令和3年2月期第2四半期)	2,798	△ 623	△ 491	△ 354	△ 24.77

修正の理由

令和4年2月期第2四半期累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続されていたことから、厳しい事業環境が継続しておりますが、一部では需要の回復の兆しも見られ始めている状況でもあります。

このような事業環境のもと、令和4年2月期第2四半期累計期間の当社グループの業績は、オンラインを中心としたイベント・展示会、事務局業務等の需要の取り込み、新型コロナウイルス感染症への感染対策を徹底してのテレビコマーシャル等の映像制作・編集業務等に取り組みましたが、映像機器レンタル部門が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている状況にあり、大型映像機材を使用するリアルイベント・展示会・コンサート・舞台等の機材需要は回復するに至っておらず、業績が低調だったことから、損失を計上する見込みであります。

令和4年2月期通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、当社の主要事業分野はその影響を大きく受けることから、当社業績に与える影響も不透明であり、現時点では業績予想を合理的に算定することが困難なため未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (令和3年4月14日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—				
前期(令和3年2月期)実績	—	0.00	—	5.00	5.00

修正の理由

令和4年2月期第2四半期末の配当に関しましては、第2四半期累計期間において損失を計上する見込みであり、需要の回復の兆しはあるものの新型コロナウイルスの収束が未だ見通せず、当社業績に与える影響も不透明なことから、現時点では、内部留保の充実、財務体質の強化を図る必要があると判断したことから無配とさせていただきます。

また、期末配当予想につきましては、通期業績が現状では合理的に算定することが困難な状況のため、引き続き未定とさせていただきます、予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上